

ひきこもる その心を理解する 第2弾

～歩んできた生き方や声を聴こう～

昨年度も同様のタイトルで講演会を実施しましたが、今年度は第2弾として、ひきこもり当事者の声をお届けします。その時本人は何を思い、何を感じ、何を考えていたのでしょうか。

この講演会では、前半は『ある当事者』の体験談、後半は浜松市ひきこもり地域支援センター職員と当事者が一緒に登壇し、浜松市のひきこもり支援についてご説明します。みなさんのご参加をお待ちしています。

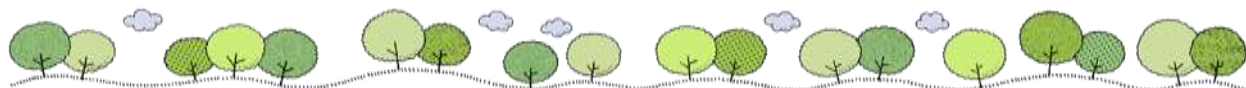
参加無料
100名様

令和2年3月12日(木)13:00～15:15(受付 12:30～)

◆浜松市地域情報センター1Fホール

◆当事者の方、ご家族、支援者その他

ひきこもりに関心のある方などどなたでもご参加できます



～ある当事者の人生を通してひきこもりを考える～



体験発表 僕の人生はエンターテインメント

〈講師〉つきゆび倶楽部 下田つきゆび氏

下田 亮太(下田つきゆび)

中2で不登校となり、一年遅れで定時制高校に入学。その後短期大学へと進学するも精神的に不安定となりひきこもりがちな生活を送る。4年かけて卒業した後に歩き遍路で四国を周る。生きづらさは解消されぬままだったが、31歳からはじめた「つきゆび倶楽部」という表現活動を通して「自分の人生はオリジナリティあふれるエンターテインメントである」と捉えるようになる。

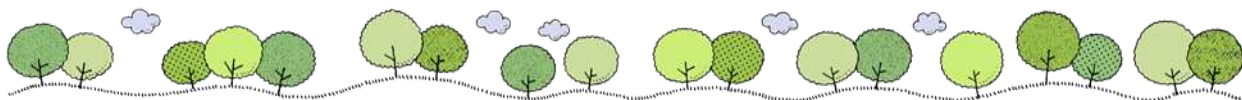
座右の銘「死ぬこと以外かすり傷」



浜松市のひきこもり支援について

ひきこもり地域支援センター職員

ひきこもり支援を受けた当事者の声もお届けします



主催 浜松市

問い合わせ・事務局 ひきこもりサポートセンターこだま

〒430-0929 浜松市中区中央1丁目13-3 ウィステリア E-one3F 浜松市若者コミュニティプラザ内
TEL:053-453-8744 FAX:053-453-8745 HP: <http://np0-e-jan.com/kodama/>



浜松市ひきこもり地域支援センターは、浜松市精神保健福祉センター(市)と、ひきこもりサポートセンターこだま(委託先:NPO 法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会)とが官民協働で運営しています。

申込
方法

ひきこもりサポートセンターこだまへ電話・FAX・メールのいずれかでお申し込みください。

- 電 話 053-453-8744 (平日のみ 9:00~18:00)
- FAX 053-453-8745 (下記の申込用紙をご利用ください)
- メール keihatsukodama@npo-e-jan.com



メール QR

申込期間：令和2年2月12日(水)~3月9日(月)

ひきこもりサポートセンターこだま 宛

浜松市ひきこもり地域支援センター 啓発事業 FAX 申込用紙

FAX：053-453-8745

申込日：令和2年 月 日

ふりがな 氏 名 ※必須	参加者全員のお名前をご記入ください。 支援機関の方は、事業所名・所属等もご記入ください。
電話番号 ※必須	() -
FAX 番号	() -
参加者 ○をつけてください	1.当事者・ご家族 2.支援機関の方 3.その他 ()

記入していただいた情報は、本講演会以外の目的には使用いたしません。また FAX でお申し込みいただいた場合、こちらからご案内等の返信はいたしませんので、当日は直接会場へお越しください。(定員オーバーにより入場できない場合には電話等で連絡することがあります。)

《会場》地域情報センター(浜松市中区中央一丁目 12-7)

- 電車 ①遠鉄西鹿島線「遠州病院」下車、徒歩3分
②JR「浜松駅」下車、徒歩15分

- バス ①「浜松駅バスターミナル」10番乗り場乗車
「県総合庁舎」下車、徒歩3分

- 車 会場に駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

